

第8次
鹿角市行政改革大綱

平成25年度実行計画

平成25年7月
総務課

1. 平成 25 年度実行計画について

第 8 次行政改革大綱は、実施期間を平成 25 年度から平成 27 年度までの 3 年間として、「政策的経費の確保」、「事務事業の効果の最大化」、「共働の推進」の 3 つの視点をもって、11 項目 22 件の具体的な改革に取り組むこととしております。平成 25 年 7 月における主要課題別の取り組み内容は次表のとおりです。

(主要課題別の項目数)

主要課題	取り組み件数	取り組み内容	
		計画期間中	平成 25 年度
(1) 事務事業の見直し	5 項目 15 件	市民が必要とするサービスを最小限の経費で効率的かつ適切な手法で提供するため、定型的な事務の簡素・効率化を図るほか、情報技術の進展に対応しながら、行政サービスの向上に取り組めます。	平成 25 年度は、本庁舎の空調管理に自然エネルギーを導入して燃料費の節減を図るほか、市ホームページのバリアフリー化及びコミュニティ FM での行政情報番組放送による行政情報サービスの利便性向上を図ります。
(2) 組織機構の簡素効率化	1 項目 1 件	行政課題の解決や市民ニーズに適合したサービスを提供するため、各種施策を機動的に展開できる組織運営を目指します。	平成 25 年度も、組織機構の適正規模化に引き続き取り組みます。
(3) 定員・報酬の見直し	2 項目 2 件	地方分権の推進に伴う業務量の拡大に対応できるよう、定員の適正化に努めます。	平成 25 年度も、定員及び報酬等の適正化に引き続き努めます。
(4) 財政運営の効率化	3 項目 4 件	市有財産を有効活用した新たな財源確保に取り組むほか、使用料等について受益と負担の適正化を図ります。	平成 25 年度は、行政財産を活用した公募による貸付の拡充を図るほか、広告収入を活用した市内案内板設置を実施します。
合 計	11 項目 22 件		

取り組み件数：実施期間（平成 25 年度～平成 27 年度）中の件数。

2. 具体的な取り組み項目

(1) 事務事業の見直し

① 事務の効率化

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
施設管理費の削減	民間活力を活かした市内街灯等のLED化（ESCO事業）に取り組み、維持管理費の節減を図る。	市内業者との協議を進めることにより課題を整理しながら、事業実施の手法を確立させる。	26	都市整備課
	維持管理費節減のため、市役所本庁舎等で、自然エネルギーの導入工事を実施する。	本庁舎の空調管理にナイトページ（低温外気を取り入れ、冷房立ち上がり時の負荷を軽減する手法）を取り入れる。	25	総務課
市民税申告相談業務の改善	効率的な相談体制を構築し、処理の迅速化と会場の混雑緩和を図る。	申告相談会場の設定方法及び相談時間の拡大について検討するため、申告相談者へのアンケートを実施する。	27	税務課

② 多様な主体との役割分担の推進

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
地域防災力の向上	防災体制の充実のため、消防団員を対象とした地域防災指導員制度を創設し、消防団と自主防災組織との連携強化を図る。	地域防災指導員活動基準案を作成するとともに、消防団員の指導力強化のため各種派遣研修を実施する。	25	消防本部

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
提案型アウトソーシング制度の構築	公共サービスの充実と効率化を図るため、市が実施している事務事業について、企業等から業務の委託化や民営化の提案を募集する。	対象事務事業の範囲を整理し、提案募集を実施する。	25	総務課

③ 公共施設の適正な管理運営

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
公共施設の再編	安心して子どもを産み育てる環境の整備のため、市単（へき地）保育園を再編整備し、柔軟な保育サービスの提供と施設運営の効率化を目指す。 ※平成28年4月 認定こども園開園	保育関係者とのワークショップを開催しながら基本設計を進める。また、用地購入に向け協議を進める。	27	福祉課
施設の利用実態に応じた管理運営の見直し	施設の効果的な運営に資するため、商工業振興センターを商工会へ譲渡する。	条例等の改廃及び譲渡契約等の手続きを進める。	25	商工振興課
指定管理者制度の導入	施設の効果的な運営に資するため、母子生活支援施設（ハニーハймかづの）を指定管理者による管理へ移行する。	指定管理者制度への移行に伴う課題等を整理し、想定される事業者と協議を進める。	27	福祉課

④ 公正の確保と透明性の向上

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
事務の透明性向上	入札契約事務において、電子入札システムの導入等を図りながら、これまで以上に透明性や競争性を高める。	物品等調達の一部においてオープンカウンター方式（公開見積合せ方式）を試行するほか、電子入札システムの導入に向けて課題等を整理する。	27	会計課

⑤ サービスの向上

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
図書館サービスの向上	利用者ニーズに対応するため、蔵書の拡充やＩＣタグによる管理システム導入を実施し、書籍の検索や、貸出、返却の効率化を図る。	図書管理システムの導入に向け、課題等を整理しながらシステムの内容を検討する。また、新規購入図書及び蔵書へのＩＣタグ貼り付けを進める。	25	生涯学習課
水道水の安定供給	水道水をより効率的に供給するため、上水道と簡易水道の経営統合に向けた施設整備を進める。	簡易水道の上水道への経営統合及び施設統合を見据え、配水池等の施設整備のため、配水池用地取得を進める。	25	上下水道課
納付機会の拡充	納税者の納付機会の拡充を図るため、いつでもどこでも納税できる仕組みを構築する。 ※平成28年4月 システム入替	コンビニ収納実施に向け、先進例を調査しながら課題等を整理する。	27	税務課
窓口サービスの利便性向上	商業施設に設置した市民サービス窓口の業務の拡充を図る。	市民サービス窓口の課題等を整理し、拡充が可能な業務の洗い出しを行う。	26	市民課

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
行政情報サービスの利便性向上	行政情報が誰にも見やすく分かりやすく伝えられるよう、市ホームページのバリアフリー化（音声読み上げ機能の付加等）を図る。	ホームページ運用ガイドラインを作成するとともに、見やすさの向上のため職員向け操作研修を行う。	25	総務課
	行政情報に接する機会を拡充するため、コミュニティFMを活用した情報発信を行う。	行政情報番組の内容について事業者との協議を進めるほか、必要な行政情報を円滑に事業者に伝達する仕組みを構築する。	25	総務課

(2)組織機構の簡素効率化

① 組織機構の見直し

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標年次	担当部署
組織・機構の再編	効率的で機動的な組織体制とするため、組織機構の適正規模化と機能強化を図る。	行政課題に対応した組織機構の見直しを検討する。	25 (毎年実施)	総務課

(3)定員・報酬の見直し

① 定員管理の適正化

取り組み項目	実施概要	平成 2 5 年度の計画	目標 年次	担当部署
定員の適正化	定員適正化計画に基づき、限られた人的資源の適正配置に努める。	平成 21 年度策定「定員適正化推進計画」を推進し、効率的で機動的な人員配置を進める。	2 5 (毎年継続)	総務課

② 報酬等の適正化

取り組み項目	実施概要	平成 2 5 年度の計画	目標 年次	担当部署
非常勤特別職報酬の見直し	報酬の適正な支給を行うため、支給方法及び金額について必要な見直しを図りながら、適正化に努める。	県及び県内他市の情報収集を進め、適正な報酬形態に見直す。	2 5 (毎年継続)	総務課

(4)財政運営の効率化

① 税外収入金の確保

取り組み項目	実施概要	平成 2 5 年度の計画	目標 年次	担当部署
行政財産の公募による貸付	新たな財源確保と市民の利便向上のため、公共施設の余裕箇所を有効利用し、公募により有償貸付を行う。	各公共施設の余裕スペースを調査しながら、有償貸付可能箇所の確認を行う。また、本庁舎市民ホールにおいて、広告付き市内案内板を設置する。	2 5 (毎年継続)	総務課
公共施設への企業広告掲出	公共施設等を広告媒体として民間事業者の有料広告の掲出を行う。	公共施設の壁面広告について、先進例を調査しながら課題等を整理する。	2 5 (毎年継続)	全庁

② 受益者負担の適正化

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標 年次	担当部署
公共施設の使用料等 の見直し	施設の類型や管理コストに応じた 使用料の基準を作成する。	施設使用料の基準作成に向け、施設の管理コストや利 用者ニーズの把握調査を実施する。	27	全庁

③ 財産の有効活用

取り組み項目	実施概要	平成25年度の計画	目標 年次	担当部署
公共施設の有効活用	老朽施設の長寿命化に取り組み、 公共施設の有効活用を図る。	公共施設の保全業務に関する基本方針を策定するた め、先進例を調査しながら課題等を整理する。	27	全庁